

寝具の着心地に関する調査研究

— 中部地区について —

酒井清子

Investigation on Comfort of Bedding

— In Chubu District —

by

K. SAKAI

はじめに

消費者が、衣料用繊維製品に対して要求する性能のうちで，“着心地”は重要な項目の一つである。そこで、寝具の着心地について2,3の考察を試みた。

衣服の着心地は、主に身体の動きに応ずる挙動によって評価される面が多いが、寝具の場合はその様相がかなり異なっているものと思われる。すなわち、寝具は一日の疲れをいやし、明日への活力を養なう睡眠、休養のために使用するものであり、着用者が、心身の解放感、安定感、安眠可能な寝心地の良いものでなければならない。

寝具の着心地条件は、主に入床してから寝つくまでの間、あるいは目ざめた時に得た感覚などの良否によって評価される事が多い。その着心地の内容は、心理的、物理的、生理衛生的性能、その他諸性質が複合介在しあったものと考えられる。

寝具の着心地調査をするに当り、まず着心地内容を既成概念にとらわれず、実態に即応したものにするために、予備調査を行なった。それらによって得た結果を基にして、寝具の着心地に要求される条件内容を24項目に整理設定し、各種寝具における各項目の票求度調査を行なった。その内の中部地区について報告する。

調査方法

調査対象寝具：夏用掛けぶとん、冬用掛けぶとん、夏用敷ぶとん、冬用敷ぶとん、マットレス、毛布、タオルケット、シーツ・包布、夏用ねまき、冬用ねまき、枕の以上11品目を選定した。

調査項目：内容は次のようである。（○内の数字は調査用紙の項目番号を示す）

- ①フワッとしている。②冷たい（涼しい）感じ。③色柄が良い。④縫製、仕立てが良い。
- ⑤毛玉ができるない、ほつれない。⑥やわらかくしげきしない。⑦清潔そうに見える。⑧サラッとしている。⑨デザインが良い。⑩寸法（サイズ）が良く合う。⑪ほこりができない。⑫あたたかい。⑬にげない、すべらない。⑭よごれにくい。⑮肌ざわりが良い。⑯色があせない、変色しない。⑰しづかよりにくい。⑱軽い。⑲肩がこらない。⑳室内との調和が良い。㉑適当な弾力性とかたさがある。㉒適当に重い。㉓肩があたたまる。㉔カラッとかわいている（むれない）。

各寝具に対して調査対象者が、着心地の良いと感ずるための条件として上記の24項目を提示し、調査項目とした。そして、各寝具ごとに要求される条件を、24項目中より5項目選び、○印を付け、さらに、その中で最も重要と思われるもの一つに◎印を記入させた。

調査対象者：中部地区在住の男子200名、女子200名、女子大生200名とした。回収率は、男子81%、女子75%、学生90%であった。

調査対象者の性別、年代別、就寝様式別内訳を表1に示す。表1の数字が示すように、学生の20才未満、20才代の者を除いては、男女共にベッドの就寝者が少ないので、本報では、たたみ就寝者のみについて検討することにした。

調査期間：昭和44年4月～昭和44年6月であった。

表1 調査対象者の内訳

性別 就寝 様式 年令	女 子						男 子			総計	
	学 生			一 般			合計	一 般			
	たたみ (人數)	ベッド (人數)	小計 (人數)	たたみ (人數)	ベッド (人數)	小計 (人數)		たたみ (人數)	ベッド (人數)		
20才未満	50	24	74	5	0	5	79	5	4	9	88
20代	79	27	106	11	0	11	117	8	1	9	126
30代	0	0	0	24	3	27	24	14	1	15	39
40代	0	0	0	66	6	72	72	65	5	70	142
50才以上	0	0	0	33	2	35	35	56	3	59	94
計	129	51	180	139	11	150	327	148	14	162	489

調査結果ならびに考察

調査結果は、寝具の種類ごとに24項目中、着心地が良いと解答した○印および◎印の数を、性別、年代別に、FACOM-270-20型コンピューターによって集計し、次式により各項目の要求度(%)を求めた。

$$\text{要求項目の要求度(%)} = \frac{\text{○印解答数}}{\text{調査人数} \times 5} \times 100 \quad (\text{5項目選択の場合})$$

$$\text{要求項目の要求度(%)} = \frac{\text{○印解答数}}{\text{調査人数}} \times 100 \quad (\text{1項目選択の場合})$$

上式からもわかるように、5項目選択の場合は1項目当たりの最大要求度は20%となる。また両式とも調査人数を基準にしている。

1 群別要求度について

調査項目を、〔A群〕、心理的性質(7項目)、〔B群〕、サイズ・縫製・型(3項目)、〔C群〕、物理・化学的性質(9項目)、〔D群〕、生理・衛生的性質(5項目)の4群に分類し、各群における項目要求度の総和をもって、群別要求度とし、着心地における要求傾向を検討した。群別要求度の結果ならびに考察については、1項目を選ぶよりも、5項目を選んだ方が傾向洞察するのに好ましいと思い、後者の結果を採用し、検討することにした。

各群における項目内容は、次の通りである。

(○内の数字は調査用紙の項目番号を示す)。

- [A群] 心理的性質………①, ②, ③, ⑦, ⑧, ⑯, ⑳
- [B群] サイズ・縫製・型……④, ⑨, ⑩
- [C群] 物理・化学的性質……⑤, ⑥, ⑫, ⑬, ⑯, ⑰, ⑱, ㉑, ㉒
- [D群] 生理・衛生的性質……⑪, ⑭, ⑯, ㉓, ㉔

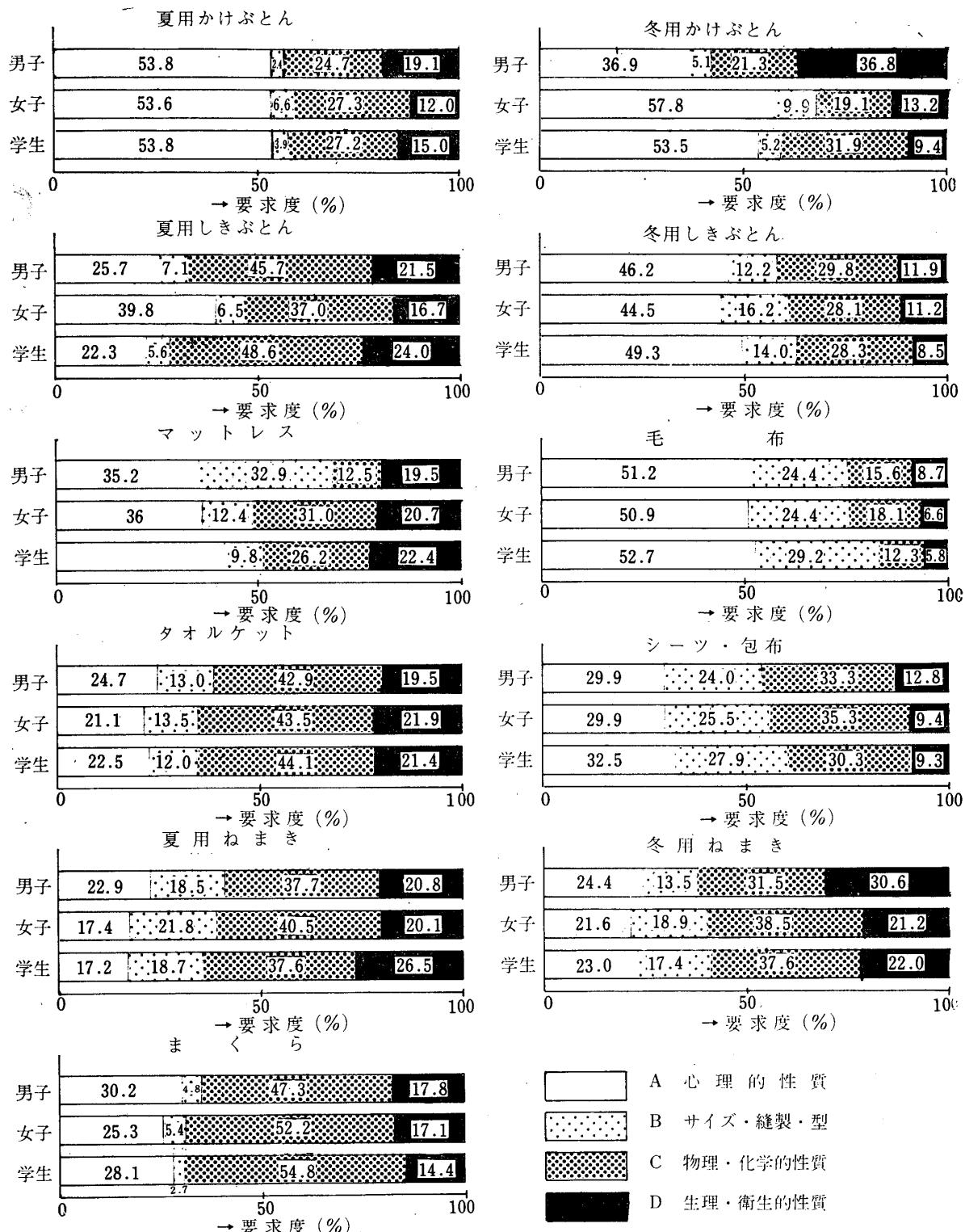


図1 要求項目の群別要求度(%)—就寝様式たたみの場合—

図1は各種寝具における群別要求度を、たたみの場合について図示したものである。棒グラフの中の各数字は、それぞれの要求度を表わし、長さは各群の要求度の和と解答率を示している。

(1) 夏用掛けぶとんについて

性別による要求度に顕著な差異は見られず、いずれもA群の心理的性質に対する要求が高く、全体の50%以上にも達している。次いで、C群が要求され、B群に対する要求は非常に低い。夏用掛けぶとんの着心地に対する評価は、心理的性能の満足度を第一義とする傾向が強いと考えられる。

(2) 冬用掛けぶとんについて

群別の要求割合は、夏用掛けぶとんの場合と同様、A群の心理的性質に対する要求が全体の過半数近く占めている。

(3) 夏用敷ぶとんについて

群別の要求割合が、男子（一般）、学生の間では、C群の要求が全体の40%台を占め、次いで、A、D、B群の順で、女子（一般）は、A、C、D、B群の順となっている。

(4) 冬用敷ぶとんについて

性別による差異は認められず、いずれも、(1)、(2)と同様、A群の心理的性質が全体の50%近い要求度を占め、次いで、C、B、D群の順となり、B群の要求度が増加している。

(5) マットレスについて

性別による差異は女子（一般）、学生ではA、C、D、B群の順で、男子（一般）ではA、B、D、C群の順であった。

(6) 毛布について

性別を問わず、A群の心理的性能への要求が50%以上を占め、B群が25%前後を示し、C、D群の順であった。

(7) タオルケットについて

性別を問わず、C群の物理的・化学的性質への要求が全体の40%台を示し、次いで、A、D、B群の順であった。

以上7種類の寝具において、総括すると、寝具の種類によつて、固有な要求を示し、季節感は余り影響がない。すなわち、夏用掛けぶとん、冬用掛けぶとん、冬用敷ぶとん、マットレス、毛布などはA群が優位を示し、夏用敷ぶとん、タオルケットなどにはC群が優位の傾向にある。

(8) シーツ・包布について

C群の物理的・化学的性質が男子（一般）、女子（一般）では優位を示し、学生においてはA群が優位を示した。

(9) 夏用ねまきについて

性別を問わず、その群別要求度順位は、C群が約40%の要求度を占め、D群への要求も比較的高く、直接肌と接触するために、その着心地の良否が現われたものと思われる。

(10) 冬用ねまきについて

性別を問わず、群別要求度順位は、C群が優位を示し、A、D群の要求も次に示している。“ねまき”というものが、ふとんなどの様な寝具と異なり、衣服的要素の強いものである結果かと考えられる。

(11) 枕について

性別を問わず、C群の要求が第1位を示して、A、D、B群の順である。

以上寝具の着心地に関しては、調査対象者の性別の相異が、その群別要求度の傾向に与える影響は少なく、寝具の種類によつては、要求度順位は2位以下3、4位の順位は変わるものもある。

2 項目別要求度について

各種寝具の群別要求度の調査結果により、項目別要求度の様相について検討することにした。調査結果は表2に示すとおりである。これは品目毎に1項目を選択した場合（◎印記入の項目）の要求を性別に集計したものである。

①—A フワッとしている

冬用敷ぶとん、夏用掛ぶとん（女子一般）において、8%前後の要求度を示すが、他の寝具では比較的その要求度が低い。

②—A 冷たい（涼しい）感じ

夏用掛ぶとん（男子一般）に対する要求度が17%強と高く、次いで夏用掛ぶとん（学生）、夏用敷ぶとん（男子一般）の順で、その要求は、夏用寝具に集中している。

③—A 色柄が良い

購入選択時の品質要求項目として、比較的大であるのに、寝具の着心地条件に関する要求度では、きわめて低い結果を示した。

④—B 縫製仕立てが良い

衣服的な要素の強い、“ねまき”の要求度で見られるが、性別においては、女子（一般）がその関心度が高く表われている。

⑤—C 毛玉ができる、ほつれない

毛布に対してその要求が圧倒的に高く、他の寝具にはほとんど関心がなく、わずかに、タオルケットに要求が見られる。

⑥—C やわらかく、しげきしない

毛布、タオルケットの着心地に対して、比較的多く要求されている。ねまき、夏用敷ぶとんに若干の要求がある。

⑦—A 清潔そうに見える

性別を問わず、シーツ・包布において、高い要求度を占めている。次に夏用ねまき、タオルケット（男女一般）、夏用掛ぶとんの要求度も目立つ。

⑧—A サラッとしている

夏用掛ぶとん、シーツ・包布、夏用ねまきなどに要求されており、夏用品目に関心度が高い。

⑨—B デザインが良い

要求している寝具は少ない。着心地との関係に関心度が少ないようと思われる。

⑩—B 寸法（サイズ）が良く合う

寝具の全般にわたって、わずかながら要求度が認められる。その内、ねまき類に対して要求が他にくらべて高い。

⑪—D ほこりがでない

着心地に対する要求度は低いが、わずかに要求度が認められる。

⑫—C あたたかい

冬用寝具の着心地にとつて、絶対的な条件項目といえる。特に冬用掛けぶとんにおいてその傾向が著しい。67.4%（学生）であった。

⑬—C にげない、すべらない

枕類に20%前後要求されているのが目立つ。次に夏用掛けぶとん、シーツ・包布に若干要求されているが、その他の要求度はきわめて低い。

⑭—D よごれにくい

性別を問わず、各種寝具の着心地に対する要求度は低い。

⑮—A 肌ざわりが良い

タオルケット、ねまき、シーツ・包布、夏用掛けぶとん、夏用敷ぶとんに要求度が高い。特にタオルケット49.6%（学生）、夏用ねまき40.3%（学生）の割合は大きい。

⑯—C 色があせない、変色しない

調査結果では、着心地に対してきわめて低い。

⑰—C しわがよりにくい

シーツ・包布において、わずかに要求されている程度で、それ以外はきわめて低い要求度を示している。

⑱—C 軽い

夏用掛けぶとんにおいて、要求が認められるがそれ以外は低い。

⑲—D 肩がこらない

枕において、10%程度の要求があつた。それ以外は低い値を示した。

⑳—A 室内との調和が良い

要求度は、いずれにおいても皆無に等しく就寝時における美的環境などの関心は、ほとんど問題にされていない。

㉑—C 適当な弾力性とかたさがある

マットレス56.6%（学生）、枕40.3%（学生）、敷ぶとん33.3%（学生）などにおいて要求されている。

㉒—C 適当に重い

冬用掛けぶとんに、若干の要求が認められる程度で、それ以外は要求度が低い。

㉓—D 肩があたたまる

冬用掛けぶとんに若干要求されている程度である。

㉔—D カラッとかわいている（むれない）

夏用敷ぶとん14.7%（学生）と夏用掛けぶとん14.7%（学生）において要求されて、それ以外はきわめて低い。

以上寝具の着心地について、24項目別要求度を総合すると次のようである。

1) 要求度の高い項目

⑫ あたたかい……（冬用掛けぶとん、冬用敷ぶとん、毛布、冬用ねまき）。

㉑ 適当な弾力性とかたさがある……（夏用敷ぶとん、冬用敷ぶとん、マットレス、枕）。

⑮ 肌ざわりが良い……（夏用掛けぶとん、夏用敷ぶとん、タオルケット、シーツ・包布、ねまき類）。

⑧ サラッとしている……（夏用掛けぶとん、シーツ・包布、夏用ねまき）。

⑦ 清潔そうに見える……(シーツ・包布)。
⑥ 毛玉がない、ほつれない……(毛布)。
などに関心がもたれる。

2) 要求度の低い項目

③ 色柄が良い、⑨ デザインが良い、⑯ 色があせない、変色しない、⑩ 室内との調和が良い。

などで、関心度が低い。

3) 性別による関心度の高い項目

・学生に関心度の比較的高いもの……② 冷たい(涼しい)感じ、⑯ 肩がこらない。

・女子(一般)に比較的関心度の高いもの……④ 縫製・仕立が良い。

などがあげられる。

3 性別、年代別要求順位について

11種類の寝具について、要求される項目の特有性を調べた。要求度の高いものから、順次3位までを比較検討した。性別、年代別に項目選択方式は1項目選択(○印記入の項目)の場合で、表3、表4に示す。

(1) 夏用掛けふとんについて

性別および年代による要求項目は、“肌ざわりが良い”、“冷たい(涼しい)感じ”、“軽い”の項目が要求されている。男女間における差をいえば、学生、女子(一般)は“肌ざわり”、“冷たい(涼しい)感じ”を要求し、男子(一般)は“肌ざわり”、“軽い”を要求している。

(2) 冬用掛けふとんについて

性別を問わず、冬用掛けふとんの条件としては、圧倒的に“あたたかい”ことが絶対条件となる。

(3) 夏用敷ぶとんについて

総体的に、“適当な弾力性とかたさがある”が最高要求項目で、次いで、“カラッとかわいている(むれない)”、“肌ざわりが良い”、“サラッとしている”などの要求があげられる。

(4) 冬用敷ぶとんについて

性別および年代を問わず、要求項目は、“適当な弾力性とかたさがある”、“あたたかい”、“フワッとしている”などがあげられる。

(5) マットレスについて

男女年代別に、“適当な弾力性とかたさがある”を第1位に要求し、次いで“ほこりがでない”、“フワッとしている”の外観的性能を要求している。

(6) 毛布について

性別および年代を問わず、“あたたかい”と、“毛玉がない”、“ほつれない”を強く要望している。女子(一般)20才未満では、“肌ざわりが良い”を要求している。

(7) タオルケットについて

性別、年代を問わず、“肌ざわりが良い”の項目が圧倒的に多く要求され、女子(一般)50才代では、“清潔そうに見える”を同程度要求している。

(8) シーツ・包布について

性別および、年代別の要求度は圧倒的に、“清潔そうに見える”が多く、2項目を“肌ざわりがよい”、“フワッとしている”、“サラッとしている”を要求している。

(9) 夏用ねまきについて

男女年代を問わず，“肌ざわりが良い”ことを要求しているが，女子（一般）20才未満では，“カラッとかわいている（むれない）”を要求し，学生では，“サラッとしている”女子（一般）では“縫製・仕立が良い”，男子（一般）では，“清潔そうに見える”を要求し，やや性別による要求項目の差が認められる。

(10) 冬用ねまきについて

性別，年代別の差は，ほとんど認められず要求項目として，“あたたかい”，“肌ざわりが良い”などをあげ，他の寝具と異なり夏用ねまきと同様，“縫製・仕立が良い”，“寸法が良く合う”の項目も要求されている。

(11) 枕について

男女年代を問わず，“適当な弾力性とかたさがある”の項目に要求が多く，“にげない，すべらない”の項目も要求を求めている。

以上寝具の着心地に関する要求項目は，性別や年代による影響はほとんど受けず，寝具の種類によつて，固有の項目が要求されるように考察された。

結論

寝具について，11種類の寝具を対象にして，着心地が良い条件調査を行なった。その結果次のような結論がいえる。

(1) 寝具の着心地に関する群別要求度について

- Ⓐ 寝具の着心地に関しては，着用者の性別や年代の違いによっては，その影響は余りない。
- Ⓑ 寝具の種類によって，群別要求度は異なり，夏，冬，掛けぶとん，敷ぶとん，などは心理的，物理・化学的性質が要求され，毛布においては，触感的，感覚的，サイズ，縫製，型などの美的性能の要望も強い。
- Ⓒ タオルケット，シーツ・包布については，主に実用的な物理・化学的性能が要求されている。
- Ⓓ “ねまき”については，季節の影響も認められず，物理・化学的性能と生理・衛生的性質の傾向を示し，サイズ，縫製，型などの美的性能も要望している。
- Ⓔ 枕については，実用的な物理・化学的性能の要求が高い。

(2) 寝具の着心地に関する項目要求度について

- Ⓐ 性別，年代による影響は認められず，寝具の種類による，着心地に対する固有の項目が要求される。
- Ⓑ 調査項目の中で，寝具の着心地に対してほとんど要求されなかつた項目は，“色・柄が良い”，“デザインが良い”，“色があせない，変色しない”，“室内との調和が良い”などであった。

③ 各種寝具の着心地に関して，要求度の最も高かつた項目

夏用掛けぶとん：肌ざわりが良い。

冬用掛けぶとん：あたたかい。

夏用敷ぶとん：適当な弾力性とかたさがある。

冬用敷ぶとん：適当な弾力性とかたさがある，あたたかい。

表2 たたみにおける項目別要求度(%)—24項目中から最も重要な項目を選択した場合—

性別	道具の種類	冬用掛けふとん				夏用掛けふとん				冬用敷ぶとん				夏用敷ぶとん				冬用ねまき				夏用ねまき							
		学生	一般	女子	男子	学生	一般	女子	男子	学生	一般	女子	男子	学生	一般	女子	男子	学生	一般	女子	男子	学生	一般	女子	男子				
項目番号群別とその内容																													
1 A	フツットとしている	3.1	8.6	5.4	2.3	3.9	3.4	2.3	1.4	6.1	8.5	7.9	6.8	3.1	2.2	4.7	3.1	2.9	4.7	0.8	0	2.7	0	0	1.6	0			
2 A	冷めたい(涼しい)感じ	12.4	9.4	17.6	0	0.7	0	7.8	7.9	11.5	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	2.9			
3 A	色柄が良い	0.8	0	0.8	0	1.4	0.8	0.7	0	0.8	0	0.7	0	0	1.4	1.6	0	2.7	1.6	3.6	4.1	0.8	0	0	2.2	4.1			
4 B	縫製・仕立が良い	0.8	2.2	0	1.6	0.7	0	1.4	0	0	1.4	1.4	1.6	1.4	0	1.4	0.8	4.3	2.0	3.1	12.9	4.1	7.8	15.1	8.8	12.2			
5 C	毛玉が出来ない、ほつれない	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0.7	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
6 C	やわらかく、しげしきない、	1.6	2.9	2.7	0	1.4	4.1	2.3	4.3	6.1	0.8	1.4	0.7	1.6	2.9	2.7	15.5	7.9	4.1	12.4	7.9	3.0	2.3	5.0	6.1				
7 A	清潔そうに見える	2.3	12.2	10.8	0	3.9	2.1	3.1	7.9	3.4	0	2.2	1.4	0	0.7	2.0	0	3.6	0.7	7.0	12.9	8.1	29.5	28.8	27.7	7.0			
8 A	サラッとしている	10.9	12.9	14.9	0	0	0.7	7.0	5.0	9.5	1.6	0	0	0	0	0	0	5.4	3.6	2.7	14.7	10.1	14.2	15.5	9.4	10.8			
9 B	デザインが良い	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0			
10 B	寸法(サイズ)が良く合う	0.8	0	0	1.6	1.4	3.9	3.6	1.4	3.9	3.6	1.4	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
11 D	ほこりができない	1.6	0.7	1.4	0.8	3.1	1.4	1.6	5.0	3.4	1.6	6.5	1.4	3.3	3.6	4.7	1.6	3.6	6.1	0	0.7	0.7	0	0	1.4	0	0		
12 C	あたたかい、	0	0	0.7	0.7	67.4	60.6	58.6	0.8	2.2	2.7	32.6	30.2	29.7	0	1.4	1.4	33.3	22.3	18.2	0	1.4	0	0	0	0	0		
13 C	にげない、すべらない、	4.7	5.0	2.0	3.1	1.4	0	1.4	0	0	0.7	0.7	0	4.3	2.7	0	0.7	1.4	2.3	0	1.4	3.1	4.3	2.0	0	0	0		
14 D	よごれにくい	0	0.7	1.4	0	0	1.6	2.2	2.7	0.8	1.4	1.4	0	2.2	1.4	0	0.7	1.4	0	1.6	4.3	6.1	0	1.4	0	0	0		
15 A	肌ざわりが良い、	29.5	20.1	20.1	2.3	0	2.8	10.9	9.4	10.8	3.9	2.2	5.4	0	0	2.0	16.3	4.3	11.5	49.6	33.8	28.4	24.8	16.5	15.5	40.3	27.3		
16 C	色があせない、変色しない、	0	0.7	0	0	0	0	1.6	2.2	2.7	0.8	1.4	1.4	0	0	0.7	1.4	1.6	1.3	0	0	0	1.4	0	1.4	0	3.4		
17 C	しわがよくなりにくい、	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
18 C	軽い、	13.2	11.5	14.9	1.6	5.4	0	5.5	0	0.7	0	0	0.7	0	1.6	0.7	3.4	2.3	4.3	4.7	1.6	1.4	4.7	0	0	0			
19 D	肩がこらない、	0	0	1.4	3.9	3.1	2.8	0	0.7	0	0.8	0.7	0	0	0.7	0	0	0.7	0.8	3.6	0	3.1	0.7	2.7	3.1	2.2	0		
20 A	室内どの調和が良い、	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
21 C	適当な彈力性とかたさがある、	0	1.4	0	0	4.7	2.1	33.3	24.5	22.3	33.3	26.6	29.1	56.6	48.0	0.7	1.4	2.0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0		
22 C	適当に重い、	0	0	1.4	3.1	2.3	1.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23 D	肩があたたまる、	0	0	0	3.9	4.7	2.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
24 D	カラットとかわいいいろいろ(わけない)	14.7	5.8	6.1	3.1	1.4	0	14.7	11.5	12.8	3.1	2.9	2.7	3.9	2.2	4.1	3.1	0.7	2.3	5.0	5.4	0.8	2.9	1.4	3.6	4.7	0.8	0	
計		96.4	94.8	102.2	95.5	102.9	91.9	90.9	93.4	93.4	93.3	91.2	90.9	77.7	83.4	88.8	95.3	93.3	89.4	87.0	89.4	92.2	95.5	94.6	87.9	96.3	90.0	92.7	
計		96.4	94.8	102.2	95.5	102.9	91.9	90.9	93.4	93.4	93.3	91.2	90.9	77.7	83.4	88.8	95.3	93.3	89.4	87.0	89.4	92.2	95.5	94.6	87.9	96.3	90.0	93.4	90.3

表3 各寝具の要求度順位が3位までの項目とその項目との要求度(%) (その1)

性別	生 子 (学 生)			女 子			一 般			男		
	20才未満 (50人)	20才未満 (79人)	20才未満~20才代 (129人)	20才未満~20才代 (5人)	20才未満~20才代 (11人)	20才未満~20才代 (24人)	30才代 (66人)	40才代 (33人)	50才代 (33人)	20才未満~50才代 (139人)	20才未満~50才代 (5人)	20才未満~50才代 (8人)
年代(人數)	順位番号	要求度順位 (%)	番号	要求度順位 (%)	番号	要求度順位 (%)	番号	要求度順位 (%)	番号	要求度順位 (%)	番号	要求度順位 (%)
夏用掛けふとん	1 15-A	30.0	1 15-A	31.1	1 15-A	31.0	1 2-A	50.0	1 8-A	20.0	1 15-A	20.0
	2 24-D	16.0	2 2-A	16.2	2 18-C	13.8	2 7-A	25.0	1 15-A	20.0	2 7-A	18-C
	3 8-A	12.0	3 18-C	14.9	3 2-A	9.9	2 18-C	25.0	2 2-A	10.0	3 2-A	10.0
冬用掛けふとん	3 18-C	12.0	3 24-D	14.9					2 4-B	10.0	3 2-A	8.3
	1 12-C	56.0	1 12-C	80.8	1 12-C	71.2	1 12-C	50.0	1 12-C	60.0	1 12-C	61.9
	2 23-D	10.0	2 18-C	2.7	2 23-D	3.9	2 18-C	25.0	2 18-C	10.0	3 1-A	6.4
夏用掛けふとん	3 13-C	8.0	2 19-D	2.7	3 13-C	3.1	2 23-D	25.0	2 18-C	10.0	3 1-A	8.3
	1 21-C	32.0	1 21-C	40.9	1 21-C	37.5	1 21-C	50.0	1 21-C	50.6	1 21-C	22.7
	2 24-D	22.0	2 24-D	12.1	2 24-D	15.9	2 7-A	25.0	2 15-A	30.0	2 11-D	13.6
冬用掛けふとん	3 15-A	14.0	3 2-A	10.6	3 15-A	6.1	2 10-B	25.0	3 10-B	10.0	3 22-C	10.0
	1 12-C	30.0	1 21-C	41.4	1 21-C	36.2	1 12-C	50.0	1 21-C	33.3	1 21-C	34.8
	2 21-C	28.0	2 12-C	38.6	2 12-C	35.3	2 18-C	25.0	2 11-A	21-C	2 12-C	30.4
マットレス	3 1-A	14.0	3 1-A	5.7	3 1-A	8.9	2 21-C	25.0	2 10-B	11.1	3 1-A	4.4
	3 18-C	4.6	3 10-B	5.7					2 15-A	11.1	3 10-B	4.4
	3 24-D	4.6							2 23-D	11.1	3 15-A	4.4
毛 布	1 21-C	63.7	1 21-C	79.0	1 21-C	73.1	1 21-C	50.0	1 21-C	85.7	1 21-C	57.1
	2 11-D	6.8	2 10-B	7.0	2 24-D	5.0	2 4-B	25.0	2 13-C	14.3	3 1-A	4.8
	2 19-D	6.8	3 1-A	5.3	3 10-B	4.3	2 10-B	25.0			3 7-A	4.8
マットレス	3 4-B	4.6	3 24-D	5.3					3 13-C	4.8	3 10-B	3.6
	3 18-C	4.6							3 24-D	4.8	3 12-C	3.6
	3 24-D	4.6								3 24-D	4.8	3 18-C

(その I) 度数 (%) の項目を求める場合、各順位までの度数を求める。

表4 各要具の要求度順位が3位までの項目とその要求度(%) (そのII)

性別	生			女			子			男			女			子			男			女			子			男			
	20才未満 (50人)	20才代 (79人)	20才未満~20才代 (129人)	20才未満 (5人)	20才代 (11人)																										
年代(人数)	番号			番号			番号			番号			番号			番号			番号			番号			番号			番号			
	順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			順位(%)			
ダブルケット	1	15-C	64.6	1	15-C	51.6	1	15-C	56.6	1	15-A	40.0	1	15-A	75.0	1	15-A	34.8	1	15-A	42.4	1	7-A	20.0	1	15-A	38.3	1	15-A	50.0	1
	2	6-C	10.4	2	6-C	17.2	2	6-C	14.6	2	4-B	20.0	2	4-B	12.5	2	7-A	26.1	2	10-A	10.2	1	7-A	20.0	2	7-A	14.1	2	1-A	25.0	1
	3	7-A	6.3	3	7-A	9.4	3	7-A	8.2	2	24-D	20.0	2	24-D	12.5	3	6-C	8.7	3	3-A	6.8	2	6-C	13.3	3	6-C	6.4	2	6-C	25.0	2
ショーツ・包布	1	7-A	31.4	1	7-A	30.6	1	7-A	30.9	1	7-A	25.0	1	7-A	40.0	1	7-A	34.8	1	7-A	31.0	1	7-A	32.2	1	7-A	40.0	1			
	2	15-A	29.4	2	15-A	23.6	2	15-A	25.8	1	13-C	25.0	2	15-A	20.0	1	15-A	34.8	2	15-A	13.8	2	8-A	17.2	2	15-A	19.1	1	8-A	40.0	2
	3	8-A	13.7	3	8-A	16.7	3	8-A	15.5	1	15-A	25.0	3	4-B	10.0	2	4-B	8.7	3	4-B	12.1	2	15-A	17.2	3	8-A	6.4	2	4-B	20.0	2
夏用ねまき	1	15-A	41.2	1	15-A	43.1	1	15-A	42.4	1	2-A	25.0	1	15-A	30.0	1	15-A	36.4	1	15-A	25.4	1	15-A	36.7	1	15-A	30.3	1	24-D	40.0	1
	2	8-A	13.7	2	8-A	18.1	2	8-A	16.4	1	8-A	25.0	2	7-A	20.0	2	4-B	22.7	2	4-B	20.3	2	8-A	16.7	2	2-A	20.0	2	2-A	20.0	2
	3	7-A	9.8	3	4-B	9.7	3	4-B	5.9	1	9-B	25.0	2	24-D	20.0	3	7-A	18.2	3	6-C	13.6	3	4-B	13.3	3	6-C	10.4	2	4-B	20.0	3
冬用ねまき	1	12-C	42.9	1	12-C	40.5	1	12-C	41.4	1	12-C	50.0	1	12-C	40.0	1	12-C	30.4	1	12-C	25.8	1	12-C	40.0	1	12-C	32.0	1	15-A	60.0	1
	2	15-A	22.5	2	15-A	27.0	2	15-A	25.3	2	18-C	25.0	3	3-A	10.0	2	15-A	17.4	1	15-A	25.8	2	15-A	20.0	2	4-B	20.0	2	4-B	20.0	2
	3	10-B	14.3	3	4-B	8.1	3	10-B	10.5	1	15-A	25.0	3	2-A	10.0	3	10-B	13.0	3	9-B	10.0	3	10-B	13.0	3	6-C	12.9	3	6-C	23-D	20.0
靴	1	22-C	50.0	1	21-C	38.0	1	13-C	24.1	1	21-C	50.0	1	10-B	20.0	1	21-C	29.2	1	21-C	35.0	1	21-C	39.4	1	21-C	34.4	1	13-C	25.0	1
	2	13-C	22.0	2	13-C	25.4	2	21-C	23.3	2	1-A	25.0	1	13-C	20.0	2	13-C	20.8	2	10-B	15.0	2	24-D	12.1	2	13-C	13.6	1	19-D	25.0	2
	3	10-B	14.3	3	19-D	11.3	3	22-C	19.4	2	19-D	25.0	1	21-C	20.0	3	7-A	12.5	3	13-C	13.3	3	6-C	9.1	3	10-B	7.1	1	21-C	25.0	2

求める度数(%) (そのII)

- マットレス : 適当な弾力性とかたさがある。
毛 布 : あたたかい, 毛玉ができない, ほつれない。
タオルケット : 肌ざわりが良い。
シーツ・包布 : 清潔そうに見える, 肌ざわりが良い。
夏用ねまき : 肌ざわりが良い。
冬用ねまき : あたたかい, 肌ざわりが良い。
枕 : 適当な弾力性とかたさがある, にげない, すべらない。

以上中部地区についての調査報告であつたが, 全国調査も行なっているので, それとの比較検討も行なわれる予定である。

本調査研究を終わるに当たり, 本研究に終始御指導, 御便宜を頂きました奈良女子大学水梨サワ子博士に感謝申し上げます。また本調査に御協力頂きました中部地区の方々に厚く御礼申し上げます。

参考文献

- 庄司他 : 1968, 繊消科学 9, 着心地に関する調査研究(第1報) 8-2
庄司他 : 1968, 繊消科学 9, 着心地に関する調査研究(第2報) 8-11
庄司他 : 1969, 繊消科学 5, 着心地に関する調査研究(第3報) 10-2
庄司他 : 1969, 繊消科学 5, 着心地に関する調査研究(第4報) 10-18